



ここが聞きたい!

# 一般質問

過去の定例会から本定例会までの一般質問通告一覧表はこちらの二次元コードから見るができます。

テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく、市政に関し自由に決め、事前に通告しています。

質問時間は40分

議員1人の質問時間は、市当局からの答弁も含めて、40分以内です。



市議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますが、各議員の二次元コードを読み込むと、一般質問の映像を見ることができます!

3月18日(水)・19日(木)の2日間にわたり、17人の議員が一般質問を行い、市政に関する問題について、市当局の見解を求めました。

※氏名の横は所属党派名(無会派は会派に属さない議員)

※各議員の提案の右上にあるロゴは、SDGs(エス・ディー・ジーズ)の17の目標に関連しています。

## 議員の提案

### 持続可能な医療提供のための組織体制



桐生厚生総合病院

**問** 課題の客観的分析に外部人材活用は

**答** 現在、厚生病院では、地方公営企業法の全部適用により、病院経営を企業長の強い権限と責任の下で行っているが、組織の健全性を保つていくためには、一般的には、外部の専門的知見を取り入れることは有効と考える。市としては、開設者協議会や経営強化プラン検討委員会等の中で必要な意見を伝えていきたい。

**問** 全国の公立病院では、経営改善や組織改革の局面で、医療経営の専門家や外部アドバイザーの知見を活用する例がある。厚生病院で、運営や組織体制の課題を客観的に分析するために、外部の専門的知見を活用することについての見解は。

**答** 組織の健全性に専門的知見は有効



近藤 芽衣 議員

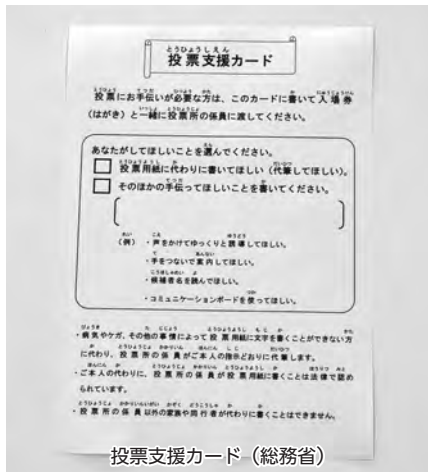
桐生厚生総合病院



そのほか…「桐生市における森林と水資源の保全」について質問

## 議員の提案

### 民意を反映させるため投票率向上を



投票支援カード(総務省)

**問** 高齡化が進む本市において身体的な理由などで、投票を躊躇することを少なくするために、投票支援カードを導入すべきと考えるが、当局の見解は。

**答** 投票支援カードは、高齡者など支援を必要とする方が、意思を伝えやすくなるためのツールであり、誰もが安心して投票に参加できる環境づくりの整備は重要な課題であると認識している。導入については、支援を必要とする方の選択肢を増やすことになり、投票しやすい環境にもつながることから、他の自治体の事例も参考にしながら、前向きに検討を進めてまいりたい。

他の自治体を参考に検討する



丹羽 孝志 議員

投票支援カード



そのほか…「魅力ある職場の推進」について質問



議員の提案

# ためらうことなくAEDを使えるまち



**問** 令和7年版消防庁報告書によると、現在国内に74・1万台のAEDが設置されているが、実際に使用されている割合は依然として低い状況にある。桐生市内で、市と民間事業者が設置しているAEDの設置状況はどうか。

**答** 市有施設は114施設119台、その内、24時間利用可能なAEDが54施設55台ある。民間事業所等でAED緊急貸出協力施設に登録している施設は、30施設30台、その内、24時間利用可能なAEDは4施設4台ある。また、設置場所は「財団全国AEDマップ」「QQ・MAP」を市ホームページで案内している。

そのほか…「災害対策用飲料水」について質問

議員の提案

# 子どもの頃から音楽に慣れ親しむ街に



**問** 音楽活動の地域移行と地域交流は、どのように行われているのか。

**答** 音楽活動の地域展開については、中学校の吹奏楽部において、桐生地区吹奏楽連盟に協力をいただいている。また、地域交流についても、中学校の吹奏学部や小学校の音楽クラブなどが地域行事などに参加している学校もある。教育委員会としては、教育大綱にある芸術文化の振興を踏まえ、地域の方々や関係者の協力をいただきながら、児童生徒が様々な音楽に親しみ、音楽のよさや美しさに触れることができる音楽活動の充実に努めてまいりたい。

そのほか…「犯罪被害者に対する支援」について質問

議員の提案

# 誤った認識の解消に必要な情報提供を



**問** 生活保護に対して誤った認識や偏見の解消のため、必要な広報・周知を行う必要があると考える。例えば、LINEの公式アカウントを活用して相談・窓口を設置し、必要な情報提供などを行う方法が考えられるが、市の見解は。

**答** 本市ではHPや庁内の電子掲示板等に福祉課に相談いただくよう周知しているが、より多くの市民に情報を届けるために、SNS等の活用は有効であると考えられる。公式LINEの情報発信は、利便性が高く、非常に有効な手段と捉え、今後有効な活用方法について研究したい。

そのほか…「自衛隊への18歳、22歳市民の名簿による提供」「排外主義と人権」について質問



辻 正男 議員  
そうぞう未来  
使用率が低い



市内のAED設置状況は



園田 基博 議員  
一心会  
音都への道



義務教育での地域との係わりは



渡辺 恒 議員  
日本共産党議員団  
生活保護の周知



公式LINEを活用してみても

議員の提案

# 地方特例交付金制度の将来的な存続を



桐生市役所

**問** 現時点で、廃止に伴う代替措置の将来的な存続は保証されていない。仮に、制度の廃止等となった場合は、地方財政に大きな影響があるため、市長会等を通じて、国に対し、要望したいと考えている。

## 財政措置を強く求める必要がある

**答** 現時点で、廃止に伴う代替措置の将来的な存続は保証されていない。仮に、制度の廃止等となった場合は、地方財政に大きな影響があるため、市長会等を通じて、国に対し、要望したいと考えている。

そのほか…「市民の声アンケート調査」について質問



福島 賢一 議員  
政策研究会  
暫定税率廃止



## 将来にわたり、存続されるのか

**問** 暫定税率は、従来、道路新設改良・維持補修事業の特定財源として運用されてきた。昨年末に廃止となり、家計負担の軽減、社会活動等に効果をもたらしたが、道路関連事業への財源確保に不安が残る。廃止に伴う代替措置として、地方特例交付金が交付されるが、この制度は存続されるのか。仮に、廃止等になった場合の対応について、当局の見解は。

**答** 暫定税率は、従来、道路新設改良・維持補修事業の特定財源として運用されてきた。昨年末に廃止となり、家計負担の軽減、社会活動等に効果をもたらしたが、道路関連事業への財源確保に不安が残る。廃止に伴う代替措置として、地方特例交付金が交付されるが、この制度は存続されるのか。仮に、廃止等になった場合の対応について、当局の見解は。

議員の提案

# 教育の発祥地を教育文化施設に



桐生市教育センター

**問** 新たに教育センター裏校舎に美術館や博物館を整備するスペースは確保できない。また、重要文化財は保存のための空調や防犯、防火体制などの厳しい条件があり、県立歴史博物館へ寄託しているが、耳飾りのレプリカは常時ご覧いただけるよう、絹襷記念会館で展示している。

## スペースの確保は難しい

**答** 新たに教育センター裏校舎に美術館や博物館を整備するスペースは確保できない。また、重要文化財は保存のための空調や防犯、防火体制などの厳しい条件があり、県立歴史博物館へ寄託しているが、耳飾りのレプリカは常時ご覧いただけるよう、絹襷記念会館で展示している。

ヒント「笹川コレクション」とは…桐生地域地場産業振興センター4階に常設展示されている1,703点の民族衣装等



佐藤 光好 議員  
政策研究会  
美術館・博物館



## 教育センター裏校舎の活用

**問** 教育センター裏校舎から回廊を通じて大川美術館につなげ展示品の拡大を図る美術館構想や、県立博物館に寄託している千網谷戸遺跡の出土品や地場産振興センターに展示されている笹川コレクションの展示会場としての博物館設置について、当局の見解は。

**答** 教育センター裏校舎から回廊を通じて大川美術館につなげ展示品の拡大を図る美術館構想や、県立博物館に寄託している千網谷戸遺跡の出土品や地場産振興センターに展示されている笹川コレクションの展示会場としての博物館設置について、当局の見解は。

議員の提案

# クビアカツヤカミキリ防除対策進めて



クビアカツヤカミキリ

**問** 令和8年度の全市有施設におけるクビアカツヤカミキリの防除対策の合計予算額は、約1億1,963万円となっている。また、被害木の予定伐採本数は合計344本となっている。

## 令和8年度予定伐採本数は344本

**答** 令和8年度の全市有施設におけるクビアカツヤカミキリの防除対策の合計予算額は、約1億1,963万円となっている。また、被害木の予定伐採本数は合計344本となっている。



岡部 純朗 議員  
そつぞつ未来  
伐採しないと危険



## 被害木の伐採を計画的に進めて

**問** 3月定例会が終わると、花の季節となる。これから花が咲く木も早めに伐採しなければ、幼虫が羽化し、次々と被害が拡大する。伐採、幹枝の処理、後片付けなど、1本の木に対して多くの費用がかかるため、一度に伐採はできないと思うが、計画的に進めていただきたい。令和8年度、市有施設におけるクビアカツヤカミキリ対策の予算額と伐採本数は。

**答** 被害木の伐採を計画的に進めて

そのほか…「市有施設の維持補修」「交通安全協会隣接倉庫」「議会答弁について私の感じた点」について質問

久保田 裕一 議員  
そうぞう未来  
清掃センター



前橋笠懸道路を見据えた整備

問 清掃センターを中心としたエリアに道の駅や農産物直売所を設置し、広域からの集客拠点と位置づけることで地域の賑いの創出に繋がるものと考えているが見解は。

地域の賑わい創出に向け研究する

答 提案については、人流誘導による賑わいの創出を考えるうえで、重要な要素の1つであり、隣接する小菊の里等との観光連携を促進することで、一層の賑いの創出が期待できるものと考えている。今後は、ごみ処理の広域化の協議の動向や幹線道路の整備状況等を注視しつつ地域の賑わい創出に繋がるような取り組みについて研究してまいりたい。

議員の提案

新里に賑わいと交流の拠点づくりを



桐生市清掃センター

そのほか…「前橋市、桐生市、伊勢崎市、みどり市及び玉村町ごみ処理の広域化に関する基本合意書」の締結について質問

山之内 肇 議員  
公明クラブ  
意義ある無償化



地産地消を軸にした取組の加速化を

問 国主導による学校給食の無償化には賛成だが、桐生市にとって、それはゴールではない。より充実した学校給食の提供と地域の農業の更なる活性化を目的として、地産地消の促進を軸とした「全国に誇る桐生市の学校給食の実現」への取組の加速化を切に願うが、市の決意は。

関係者と協力し心を込めて取り組む

答 郷土への愛着と誇りを育む「意義ある学校給食」を目指し、地産地消を通じ、栄養バランスの取れた給食により、健全な成長を支えていく。これを実現するため、子どもの明るい未来と地域活性化のため、関係機関や生産者と協力し、心を込めて取り組んでまいりたい。

議員の提案

全国に誇る桐生市の学校給食の充実を



給食を食べているイメージ

そのほか…「経済的な事情に関わらず、こどもたちが多様な学びや体験を得られる仕組みの構築」について質問

周藤 雅彦 議員  
クラブ21  
消費生活センター



トラブルや犯罪の被害防止対策は

問 昨年、新庁舎が完成し、消費生活センターが庁舎の中へ戻ってきており、その周知拡大が今後必要と考える。また、犯罪やトラブルから市民を守ることが重要であり、未然に防ぐことは行政の仕事だと思いが、同センターの対応と被害防止対策について、当局の見解は。

未然防止対策の啓発活動に力を

答 専門的知識を有する相談員が、丁寧に適切な助言や情報提供を行っており、必要に応じて関係機関と連携し、支援体制を整備している。また、対策として出前講座や脳いきいき教室等啓発活動に力を入れている。今後も、市民の安全安心な消費生活の確保に向けて努めていく。

議員の提案

犯罪等の被害防止と相談体制の強化を



桐生市消費生活センター案内図

そのほか…「災害時に伴う体制」について質問

議員の提案

# 水環境や農業の持続可能性向上に寄与



境野水処理センター航空写真

**問** 高嶋開発工学研究所の複合発酵技術は、微生物群を活用した先進的な污水处理技術と考える。仮に汚泥が生じない・薬品の使用が要らない、となれば下水処理コストも大幅に縮減できる。この技術を污水处理技術として採用可能なのか、まず研究してもらえないか。

## 効率的な手法を研究していく

**答** 提案の技術導入には効果や課題を検証するための実証施設の建設や試験が必要であり、多くの課題がある。現在は汚泥を民間に委託しリサイクルしているが、汚泥減量化も課題である。今後も提案の手法をはじめ、効率的な污水处理技術の研究を進めていく。



飯島 英規 議員  
無党派

## 新技術の污水处理

## 微生物浄化技術は採用可能か



議員の提案

# 公共防犯カメラの増設で市民の安全を



防犯カメラのイメージ

**問** 今年2月、市内金融機関で強盗事件が発生した際、地元住民は非常に不安な思いをしていた。また、最近の犯罪は凶悪化しているという報道もある。防犯カメラは、市民の生命と財産を守るための施策であり、犯罪を未然に防ぐための社会基盤でもある。また、事件発生後の対応手段としても効果的と考える。本市が安心して暮らせるまちになるため、公共の防犯カメラの増設をしていただきたい。

## 市民が安心して暮らせる社会の実現

**答** 警察と有効な設置場所について協議し、必要経費を取りまとめ、可能であれば6月定例会に補正予算案として提出できるように検討してまいりたい。



北川 久人 議員  
一心想会

## 生命と財産を守る

## 市が設置する防犯カメラを増設して



そのほか…「プール開放期間の延長」について質問

議員の提案

# 正しい知識・認識のために継続実施を



桐生市役所

**問** 生活保護担当職員や福祉業務に関わる社会福祉協議会や民生委員などへの研修は、どのように行っているのか。

## 継続的・定期的開催していく

**答** さまざまな関係者が制度の理念や仕組みを正しく理解し、協力して支援活動を行うことが不可欠である。民生委員の全体研修会では、査察指導員が講師の一人として参加し、生活保護制度の基本的な説明を行うとともに地域と行政のパイプ役をお願いした。今後も関係者間の連携を強化していきたいと考えており、今回のような研修会については、関係団体などからの要望も踏まえながら、継続的に開催していきたい。



関口 直久 議員  
日本共産党議員団

## 生活保護業務

## 福祉業務に関わる者への研修は



そのほか…「学校統廃合問題」「市庁舎」について質問